

学校だより

津久戸

平成28年11月1日

11月号

新宿区立津久戸小学校

子どもの声を聴く「展覧会」

校長 八田 瑞穂

星つかみ 手にいっぱい 金平糖

スーパーで 松茸売ってる 秋が来る

文集『つくど』より

もうすぐ展覧会。子どもたちは最後の仕上げに余念がありません。忙しい日々です。図画工作科と家庭科の作品が展示されます。

図画工作科の教科の目標は「表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。」とあります。

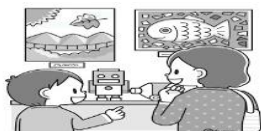
幼稚園の園児がチョークで思うままに、校庭に絵を描く姿。子どもたちが図工室で、家庭科室で作品作りに向かう真剣な姿。自分から好きで、取り組む姿は喜びに満ちています。この「喜び」という言葉は図画工作科の教科目標にしかありません。

展覧会は作品の発表会でもあります。その作り出す過程こそが、子どもたちの内面が躍動する本質があらわれるそのものなのでしょう。

19日（土）は、4年生以上は保護者の方と一緒に鑑賞する機会もつくりました。是非、お子さんと一緒に「対話」をしながら、作り出す過程の苦労や喜びを共に語り合っていたきたいのです。作品をみただけではわからない新しい発見が、作品から、そしてお子さんそのものからあるはず。そして、他のお子さんの作品も解説してもらって下さい。お子さんの言うことに耳を澄まして、聴いてあげてほしいのです。

自分や友達のを「説明」するのは子どもたちにとって難題です。わかっていても、言葉にするのはまた別です。そして、保護者の方はうんと褒めて、そして質問してほしいのです。この対話しながら鑑賞することで、新しい発見が必ずあるはず。そして、

1年生・2年生・3年生も18日・19日とも午後4時30分までは入場できます。放課後、またお家の人と一緒に鑑賞するのも楽しいことと思います。



ふれあい月間について

生活指導主幹

「ふれあい月間」は、学校が、いじめや不登校、その他の問題行動の状況について総点検を行い、問題行動等の未然防止や早期発見、早期対応につながる具体的な取り組みを行うことを目的としています。また、こうした取り組みを充実させていくためには、教員等の指導の在り方も重要であり、状況を把握する機会とされています。主な取り組みとしては、全体への講話や児童へのアンケートによる調査を中心に、6月、11月、2月の年3回行われています。回答には複数の教員が分析にあたり、把握した課題については児童からの聞き取り、保護者への連絡等適宜必要な指導助言を行い、早期発見、早期対応を目指します。

さらに昨年度より6月、11月には4年生以上の児童を対象に(hyper-QU)が導入されました。これは「よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート」で、いじめの発生・深刻化の予防や対応、不登校への早期対応等に活用していきます。

「ふれあい月間」としての取り組みは年3回ですが、取り組み期間以外でもいじめ、不登校、暴力、問題行動等には組織で対応する体制で取り組んでいます。ご家庭からの相談にも対応しています。お子さんを中心に、学校と保護者が共通の視点で協力して取り組んでいくことは健全育成にとって大切なことです。今後ともご理解ご協力お願い致します。

展覧会

図工専科

子どもたちは、造形活動を通してテーマをもとに発想を広げたり深めたりしながら、それを色や形でどう表現していこうか考えます。こうした制作過程の中で児童は「思い」を込めて取り組みます。

展覧会は、作品制作を通して「思い」を形に表すことで、一人一人が輝く行事です。ぜひ津久戸小学校児童の一人一人の良いところをご鑑賞いただければと思います。

本年度は下記の日程で、展覧会が開催されます。

記

場所 津久戸小学校 講堂

日時 11月18日（金）～19日（土）

9：00～16：30（閉館16：45）

《お願い》

- ・スリッパ等の上履きと、靴を入れるための袋をご用意ください。
 - ・自転車、ベビーカーでのご来校はご遠慮ください。
 - ・保護者の方は名札の着用をお願いいたします。
 - ・会場内では走ったり騒いだりすることは禁止です。事故などの原因になります。小さなお子様をお連れの方はご注意ください。
- ご協力よろしくお願いします。

【学年の窓から・・・3年生】

1 組担任

全担任先生に代わって、いきなりプラネタリウム、スーパーマーケット（よしや）見学、遠足（平和の森公園）など慌ただしい2週間が過ぎていきました。その中で月や星に興味をもち、本で調べたり、夜、月を見たり、友達同士で話が盛り上がっていました。スーパーマーケット（よしや）見学では、店内だけではなく、作業所など普段中々見ることができない場所を見せていただきました。今、社会科では、経験したことや工夫していることについてまとめているところです。遠足では、秋空のもと、四年生と一緒に平和の森公園でアスレチックを楽しんだり、広い芝生で遊んだり、教室の勉強では、見られない子どもたちの様子を知ることが出来ました。

教室では、チャイムが鳴らなくても時計を見て行動できることに驚きました。時間があれば静かに読書をしています。騒がしくなると友達同士で声を掛け合っています。一人一人のいいところを伸ばしていきたいと思います。

2 組担任

3年生の学習。特に津久戸小では、地域から学び、地域の方々に触れ合う機会や体験活動に多く取り組んでいます。

2 学期には、社会でスーパーマーケット見学に行き、身近なスーパーの裏側を見せていただく体験をしました。総合「地域安全マップ作り」では、自分たちの住んでいる町の危険な所・安全な所を調べました。フィールドワークでは、地域の方や保護者の方にインタビューをしたりお手伝いをさせていただいたりとありがたかったです。

こうした学習・体験の多くは、地域の方々の協力の上で成り立っています。子どもたちが、お世話になった人たちにすすんで挨拶することなどを通して、感謝の気持ちを伝えてほしいと願っています。

そして、どの活動においても強く感じることは、3年生の話を聞く態度のすばらしさです。人の話を聞くということは、人と関わる上での基本です。普段の生活の中でできているからこそ、地域との関わりの中においても自然な形で当たり前のようにできるのだと思います。多くの体験を通し、話を聞き、考え、伝え合う力を高めていきたいです。

1 1 月の生活目標

『きまりよい 生活をしよう』

- ・校帽や名札をきちんとつけよう。
- ・外で元気に遊ぼう。
- ・力を合わせて行事を成功させよう。
- ・決められたことを守ろう。



きまりを守り、お互いに協力し合って、学校生活を気持ちよく送れるように指導していきます。

（生活指導部）